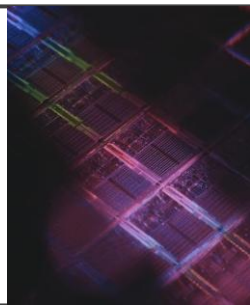


2026年7月15日  
株式会社SVPジャパン

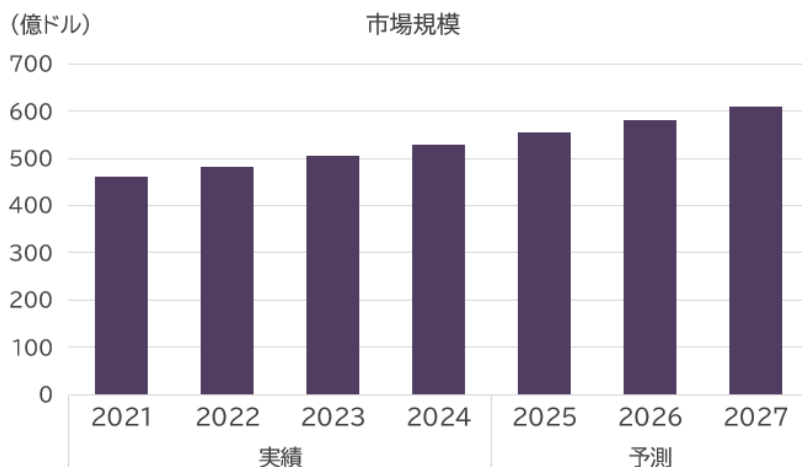
## SVP注目市場分析 「パワー半導体」を公開

～高効率化が進む電力制御市場の成長展望～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「パワー半導体-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

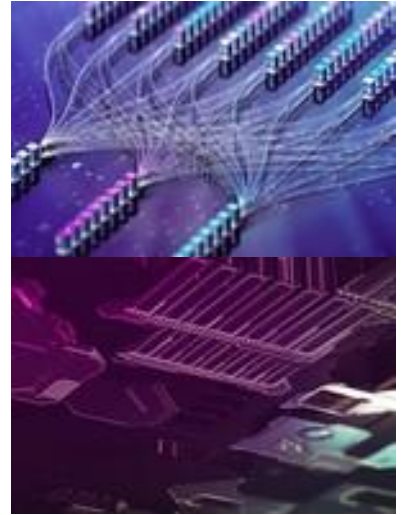
### ■ パワー半導体の世界市場



パワー半導体とは、直流・交流変換や昇降圧、電流の直流化、電力のスイッチング制御を担い、電力を効率よく制御する半導体デバイスであり、ディスクリート半導体、パワーモジュール、パワーICなどが含まれる。近年、AIデータセンターの大電力化やEVの高電圧化、再生可能エネルギーの普及により、システム全体の省エネ性能と安定稼働を左右する基盤部品として重要性が高まっている。AIサーバーでは電力損失や発熱が設備設計上の制約となり、EVでは充電時間短縮と航続距離向上に向けて高耐圧・高効率デバイスが不可欠となる。今後は、データセンター電源の高効率化、産業機器向けインバーター需要、電力インフラの高度化を背景に、中長期的に市場は安定成長を続ける見通しであり、特にEV向けSiCモジュール、データセンター電源向けGaNデバイス、再エネ向けパワーコンディショナーが有望分野となる。

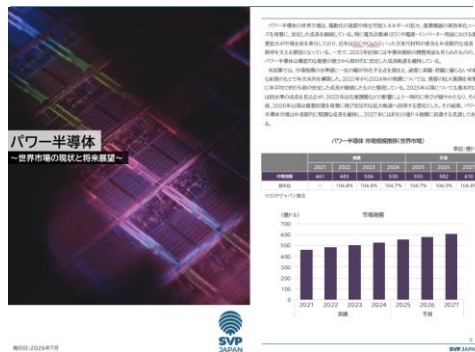
## ■ パワー半導体の市場概況

パワー半導体市場では、ディスクリート、パワーモジュール、パワーマネジメントIC、SiC・GaNなど製品・材料ごとに競争構造が異なり、欧米大手と日系メーカーが存在感を示している。特に車載・産業機器・データセンター電源用途では、高耐圧・高効率化に加え、モジュール化や顧客アプリケーションへの適合力が重視され、参入障壁は高い。一方、EVの高電圧化やAIインフラの大電力化、再生可能エネルギーの拡大を背景に需要は底堅く、SiC・GaNへの技術転換が新たな競争軸となっている。さらに希少資源の偏在や専門人材不足が供給面の課題となる。日本市場は材料・製造装置、パワーモジュール、次世代材料研究で強みを持ち、国家戦略や企業連携を通じて存在感を高めていく見通しである。



## ■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造
- VII. 課題
- VIII. 日本市場の動向



←レポート全編を見る クリック  
※本サービスのご利用は、  
SVP会員様限定でございます。

## ■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。  
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



## ■ 次回のテーマ

8月のテーマは「全固体電池」と「ナトリウムイオン電池」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

### [会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン  
代表取締役 : 橋本 雅  
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F  
設立年月日 : 1974年7月1日  
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス  
URL : <https://www.svpjapan.com/>

### [本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課  
[info@svpjapan.com](mailto:info@svpjapan.com)